

住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数のポイント (平成 24 年 3 月 31 日現在)

総務省自治行政局住民制度課

○全国の人口は、1 億 2,665 万 9,683 人

○全国の人口は、昨年に引き続き減少

- ・調査開始（昭和 43 年～）以来、平成 18 年に初めて減少し、平成 20 年、21 年と増加したが、平成 22 年、23 年、24 年と 3 年続けて減少
- ・1 億 2,692 万 3,410 人（平成 23 年） → 1 億 2,665 万 9,683 人（平成 24 年）
対前年 26 万 3,727 人減
- ・出生者数が 4 年連続で減少し（104 万 9,553 人）、死亡者数は調査開始以来最高となった（125 万 6,125 人）。
- ・減少傾向が続いていた転入者数（517 万 7,080 人）及び転出者数（525 万 2,534 人）は、それぞれ昨年度より増加した（転入者数は平成 14 年度以来、転出者数は平成 8 年度以来）。

○人口増加数は東京都、人口増加率は沖縄県がトップ

- ・東京都の人口増加数：3 万 6,810 人
- ・沖縄県の人口増加率：0.66%

○市部（特別区を含む。）の人口割合が、全国の人口の 9 割超

- ・市部：1 億 1,494 万 7,770 人（90.8%） 町村部：1,171 万 1,913 人（9.2%）

○三大都市圏（東京圏、名古屋圏及び関西圏）の人口が、過去最高を記録

- ・昨年（50.63%）に引き続き、全国人口の半数を上回る（50.75%）

○全人口に占める年少・生産年齢人口の割合は、調査開始（平成 6 年～）以来毎年減少し、老年人口の割合は毎年増加

- ・年少人口（0 歳～14 歳）：13.25%（調査開始（平成 6 年）以来毎年減少）
- ・生産年齢人口（15 歳～64 歳）：63.32%（調査開始（平成 6 年）以来毎年減少）
- ・老年人口（65 歳～）：23.43%（調査開始（平成 6 年）以来毎年増加）

○世帯数は、調査開始（昭和 43 年～）以来毎年増加

- ・5,378 万 3,435 世帯 → 5,417 万 1,475 世帯（対前年 38 万 8,040 世帯増）

○1 世帯の平均構成人員は、調査開始以来（昭和 43 年～）毎年減少

- ・2.36 人／世帯 → 2.34 人／世帯（対前年 0.02 人／世帯減）